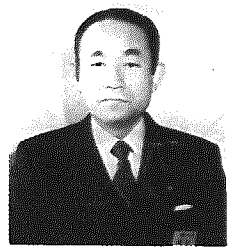


健全財政を維持し 行政ニーズに対応



町長 青木 太一郎

今日、わが国経済は大幅な対外不均衡を抱え、しかも経済史上例のない円高不況にあります。政府は引き続き経済の着実な発展と国民生活の向上を目指し、昭和六十二年度一般会計予算の編成方針として、財政の健全確立、赤字国債依存体質からの脱却等を目的として、前年度同様一般歳出経費の徹底した節減、合理化を図るとともに、大幅な税政改革案を国会に提出しています。

このような厳しい国家予算の財政環境下において、地方財政運営もまた極めて厳しい対応を迫られています。

私は引き続き厳しい財政実情の中にあつて、本町の行財政運営については、健全財政の確立こそ緊要としながらも、多様化する町民の行政ニーズに的確な対応を図り、

時代の進展に合わせ、県都新潟市の玄関口にふさわしい、活力ある町づくりのため第三次総合計画の本旨を尊重し「人と緑と産業の調和した豊かな文化あふれる黒埼町」建設に向かって精一杯努力致す所存であります。

以上の所信を基調といたしまして、新年度予算編成にあたりましては、

- 一、生活環境の整備充実
 - 二、農商工業のバランスのとれた振興と産業基盤の確立
 - 三、教育並びに文化、スポーツ施設の整備と青少年の健全育成
 - 四、住民福祉の増進と健康づくりの四点を引き続き町政推進の重要項目として、財源の効率的配分を行った次第であります。
- (以下下欄の予算説明にかえます)
三月定例議会施政方針演説から

持家建設資金貸付 制度を設立

商工費 1億8910万9千円

(+4981万7千円)

円高不況、景気の低迷、大型店の出店計画など本町の商工業は依然として厳しい状況です。国県の施策、商工振興審議会の意見をとり入れ、活性化への道を探ります。経営資金対策として、産業育成資金、商工業近代化資金の貸付融資枠を拡大します。新たに、住宅建設を促進するため、持家建設資金貸付制度を設けました。商店街共同駐車場の借上料、街路灯の占用料に助成。商工会への補助金の増額、黒埼祭りの補助をします。

観光開発を本年度から重点的に取り組み、県観光協会への加入、観光計画の推進、研究を重ねていきます。

- ・黒埼町商工会補助金 670万円
- ・県観光協会員担金 9万8千円
- ・黒埼祭り補助金 300万円
- ・産業育成資金貸付金 8000万円
- ・産業育成資金県貸付金元利返還金 4082万円
- ・商工業近代化資金貸付金 3000万円
- ・商工業近代化資金利子補給金 360万円
- ・持家住宅建設資金貸付金 2000万円

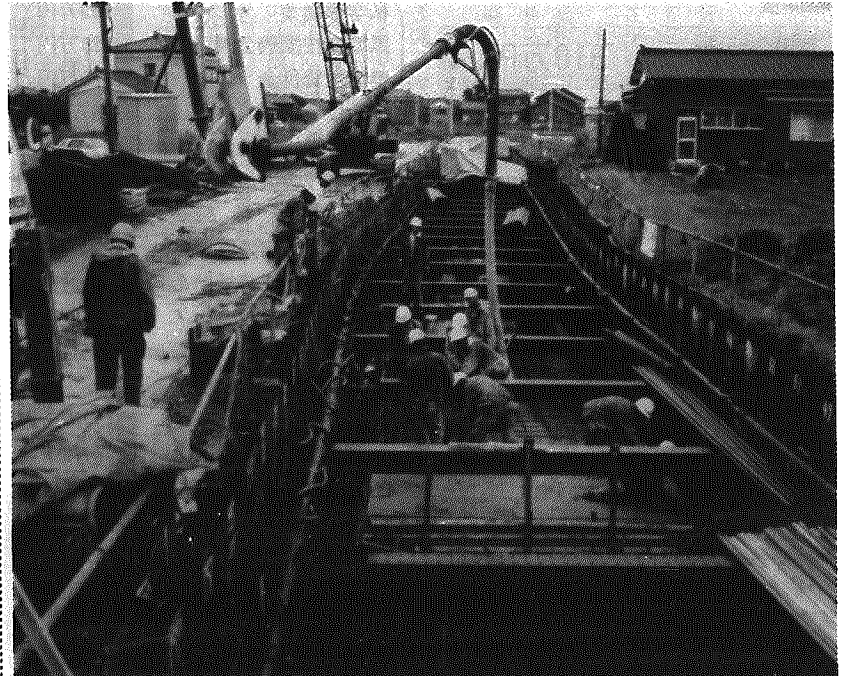


住宅建設に補助

土地区画整理事業 に補助

- ・道路、橋の維持管理除雪など 4403万1千円
- ・道路、橋の新設改良費 2億1139万9千円
- 町道改良舗装工事費 8000万円
- 町道拡張用地買収費 7438万1千円
- 県道改良工事負担金 1000万円
- 道路改良舗装工事補助金 300万円
- 町道改良物件補償費 3293万円
- ・緒立的場土地区画整理事業補助金 400万円
- ・都市下水道費 1億6021万4千円

- 下水道マップ作成業務委託料120万円
- 前川原幹線、大野2号幹線下水道築造工事費 7260万円
- 都市排水路改修工事費 930万円
- 前川原ポンプ場用地置収費6000万円
- ・前川原ポンプ場管理費 1922万4千円
- ・公園事業費 22万円



都市下水道事業を推進

道路都市下水路 計画的に継続

土木費 4億4130万7千円

(-2785万7千円)

町道の改良、舗装、用地買収を計画的に実施していきます。県道の改良、歩道設置も推進します。都市下水路事業では、昨年前川原ポンプ場が稼働し、引き続き大野2号幹線、前川原幹線の工事を進めます。町単独の排水路整備も計画的に進めます。公共下水道事業に取りかかれるよう本年度は下水道マップを作成します。新たに土地区画整理事業を推進するため、設立が予定される的場緒立土地区画整理組合(仮称)を補助します。

基本検診に補助

衛生費 2億6558万7千円

(+801万1千円)

町民の健康づくりは町の大きな目標です。本年度も総合検診、各種予防接種、健康教育、健康相談などを推進。健康展も開催します。成人病予防のため基本検診を受ける30歳以上の人への補助を新たに実施します。引き続き自治会でを行う防疫用薬剤の購入費、家庭下排水溝整備に助成します。

- ・国民健康保険特別会計繰出金 500万円
- ・高額療養費資金貸付基金繰出金300万円
- ・予防費 1802万円 (各種検診、健康づくり事業など)
- ・母子衛生費 1168万1千円
- ・環境衛生費 756万2千円
- ・老人保健特別会計繰出金 5277万8千円
- ・ごみ収集委託料 4765万円
- ・新潟地区広域清掃事務組合負担金 1億397万9千円



健康づくり講座

老人憩の家の 浴場を改修

民生費 2億5961万1千円

(+2194万2千円)

昨年度から始まった地域福祉在宅福祉事業を継続し、ボランティアの組織づくりを進めます。新たな事業として、県単集合デイケア事業(在宅寝たきりの人のための特殊浴槽を黒埼荘に作る予定)、黒埼荘の一般浴場の拡張を計画しています。児童遊園の整備、民生委員の増員(3名)も行います。

- ・社会福祉負担金補助金交付金 777万5千円
- ・老人憩の家一般浴場棟増改築工事 1810万8千円
- ・集合デイケア事業施設工事費 663万9千円
- ・広域養護老人ホーム負担金118万3千円
- ・老人憩の家管理費 826万9千円
- ・国民年金事務費 2887万3千円
- ・障害福祉費 454万9千円
- ・児童措置費 5576万5千円
- ・黒鳥保育園委託措置費 2735万3千円
- ・児童遊園維持管理費 265万9千円



人件費11億円

特別職給料据え置き

総務費 12億361万2千円

(前年度比+1265万5千円)

総務費は予算総額の36%を占めます。大半は人件費(町長、助役、収入後、教育長は昨年同様据え置き)で総額11億316万円です。来年2月の町政施行15周年記念として、新しい町章、町勢要覧を作成します。交通安全関係では、警察、交通安全協会、母の会、交通指導隊と連携し、また、安全施設の整備に努めます。

- ・特別職給料(町長、助役、収入後) 1810万8千円
- ・教育長給料 478万8千円
- ・職員給料(213人分) 5億6615万1千円
- ・職員手当など 3億2210万9千円
- ・共済費 1億9028万5千円
- ・町長交際費 330万円
- ・町史編さん費 315万円
- ・広報、要覧などの印刷費 801万5千円
- ・新春座談会放映料(テレビ) 30万円
- ・地方鉄道近代化設備整備費補助金 52万5千円
- ・交通安全対策費 737万1千円
- ・自治会長委託料 677万9千円
- ・徴税費 2254万5千円
- ・戸籍住民基本台帳費 972万9千円
- ・選挙管理委員会費 105万5千円
- ・県議会議員選挙費 61万6千円
- ・町議会議員選挙費 267万1千円
- ・農業委員選挙費 52万7千円
- ・西蒲土地改良区総代選挙費 23万1千円
- ・各種統計調査費 42万7千円
- ・監査委員会費 119万2千円